

概要

仮想化の機能をデータセンターからデバイスにまで拡張することで、VMware Horizon® 6 では単一のプラットフォームから、仮想 / ホスト型デスクトップやアプリケーションをエンドユーザーに提供できます。これらのデスクトップや、RDS ホスト型アプリケーション（公開アプリケーション）、VMware ThinApp® を使用した仮想アプリケーション、SaaS アプリケーション、Citrix 社の提供する仮想アプリケーションを含むアプリケーションサービスは、デバイス、場所、メディア、接続方法を問わず、単一の統合ワークスペースからアクセスすることができます。

また、Horizon 6 は包括的なワークスペース環境管理が可能のほか、Software-Defined Data Center 向けに最適化されていることで、ユーザーが望むスピードとビジネスに必要な効率性を満たしながら、エンドユーザーが必要とするすべての Windows リソースを、制御、管理、および保護できるようになります。

新機能

Horizon 6 では、完全にステートレスなデスクトップをサポートするための、適切なタイミングでアプリケーションを配布する機能やユーザー環境管理機能など、100 を超える新機能が提供されます。これにより、優れた運用効率を低コストで実現しながら、デスクトップやアプリケーションの仮想化機能を拡張して、ワークスペース モビリティをサポートできます。

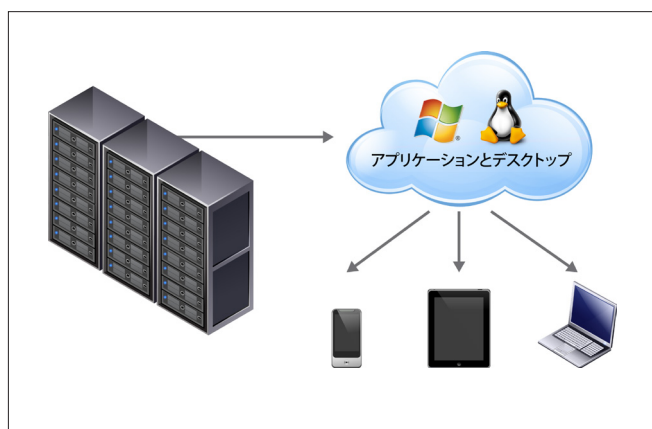


図 1: End-to-End の IT インフラストラクチャ

エンドユーザー コンピューティングの現状

すべてのエンドユーザーが、1 台の Windows デバイスを使用して同じ場所で仕事を行うクライアント / サーバ時代は終わりを告げました。今日のエンドユーザーは、新しいタイプのデバイスを仕事で活用し、Windows アプリケーションと並行して Windows 以外のアプリケーションにもアクセスしており、これまで以上にモバイル化が進んでいます。

この新しいモバイル クラウドの世界では、従来の PC に特化した管理ツールを使用してエンドユーザーにサービスを提供し、管理することは、ますます困難となります。実際のセキュリティやコンプライアンスの問題として、データの損失やイメージの流出が懸念されています。また、企業はコストの抑制に苦心しています。Horizon 6 では、IT 部門はコストを抑制し、エンドユーザーに時間、場所、デバイスを問わず利用できる作業環境を提供しながら、新しい効率的な方法で、Windows デスクトップおよびアプリケーションを提供、保護、および管理することができます。

Horizon 6: デスクトップおよびアプリケーションをサービスとして提供

Horizon 6 では、イメージを中央で管理することで、管理の効率化、コスト削減、コンプライアンスの維持を行うことができます。また、単一のプラットフォームを通じて、仮想 / ホスト型デスクトップやアプリケーションをエンドユーザーに提供することも可能です。これらのデスクトップや、RDS ホスト型アプリケーション、ThinApp を使用した仮想アプリケーション、SaaS アプリケーション、Citrix 社の提供する仮想アプリケーションを含むアプリケーションサービスは、単一の統合ワークスペースからアクセスできます。これにより、ユーザーが望むスピードとビジネスに必要な効率性を満たしながら、エンドユーザーが必要とするすべてのリソースを提供できます。

デスクトップおよびアプリケーションを単一のプラットフォームで提供

単一のプラットフォームを通じて仮想 / ホスト型デスクトップおよびアプリケーションを提供することで、管理を効率化し、エンドユーザー権限を容易に設定できます。またデバイスや場所を問わず、デスクトップおよびアプリケーションをエンドユーザーに迅速に提供します。

また、Microsoft Remote Desktop Services (RDS)、仮想デスクトップ、および ThinApp でパッケージングされたアプリケーションを使用して、ホスト型 Windows アプリケーションや共有デスクトップセッションを Windows Server インスタンスから提供するための単一のプラットフォームを提供します。

現在 Horizon 6 は、RHEL、Ubuntu、CentOS、NeoKylin などの Linux ベースのデスクトップと、Windows の両方をサポートしています。

統合ワークスペースを通じたセキュアなアクセス

Horizon 6 は、リアルタイム検証をサポートしており、Active Directory や LDAP などの複数の ID ソースにわたる ID 管理の効率化や、コンテキストに応じてカスタマイズ可能なアクセスをエンドユーザーに提供することができます。エンドユーザーは単一の統合ワークスペースを介してリソースへのアクセスが可能です。

また、Horizon 6 は、2 要素認証、スマートカード認証、および生体認証をサポートするほか、米国連邦政府機関のコンプライアンスなどの、最も要求の厳しい基準に対応するよう設計され、認証を取得しています。

統合ワークスペースを通して提供および利用できるデスクトップやアプリケーションは次のとおりです。

- Horizon 仮想デスクトップ
- XenApp 5.0 以降
- Windows Server 2008 以降での RDS ホスト型のアプリケーションおよびデスクトップ
- SaaS アプリケーション
- ThinApp 5.0 以降
- VMware Horizon® Air™ Desktops および Horizon Air Apps

エンドユーザーは、統合ワークスペースの Web アプリケーションポータルから、シングルサインオン (SSO) で、AirWatch® Content Locker™ にログインできます。また、AirWatch Mobile Device Management も使用している場合は、各自のデバイスを登録することも可能です。

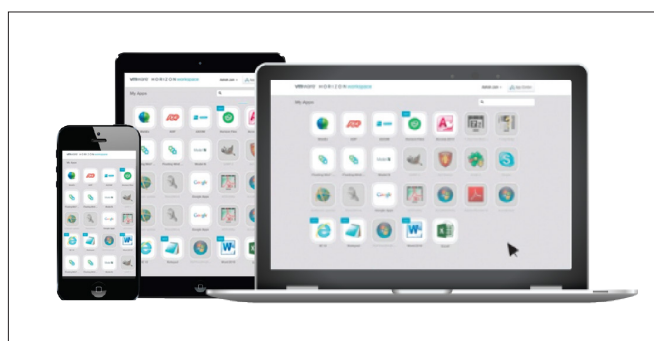


図 2：統合ワークスペース

操作性に優れたユーザー環境

Horizon 6 は、デバイス、場所、メディア、および接続方法を問わず、一貫性のある優れた環境をエンドユーザーに提供します。エンドユーザーの生産性を最大化する豊富な機能と Blast Performance 機能により、あらゆるユースケースに対応することが可能です。

Blast Performance に含まれる機能

- Blast Unity Touch：デバイスを問わず状況に合わせて直感的に使用できるユーザー環境を提供。これにより、Windows をモバイルデバイスで容易に実行することが可能

- Blast Local Access：USB や周辺機器などのローカル デバイスへのアクセス
- Horizon Clients for Blast：デバイスの種類や場所を問わず、一貫した最高の使用環境を実現する統合クライアント
- Blast Adaptive UX：WAN と LAN を通じての HTML ブラウザ経由、または専用のデスクトップ プロトコルである PCoIP を使用したアクセスの最適化
- Blast Multimedia：高性能のマルチメディアストリーミングにより優れたユーザー環境を実現
- Blast 3D：仮想デスクトップおよび RDS ホスト型アプリケーションの NVIDIA GRID vGPU にも対応したワークステーションレベルのパフォーマンスを提供する、充実した仮想グラフィックス機能
- Blast Live Communications：完全に最適化されたユニファイドコミュニケーション機能や、リアルタイムのオーディオおよびビデオのサポート。Horizon 6 は、Windows 8 上での Microsoft Lync の使用をサポート

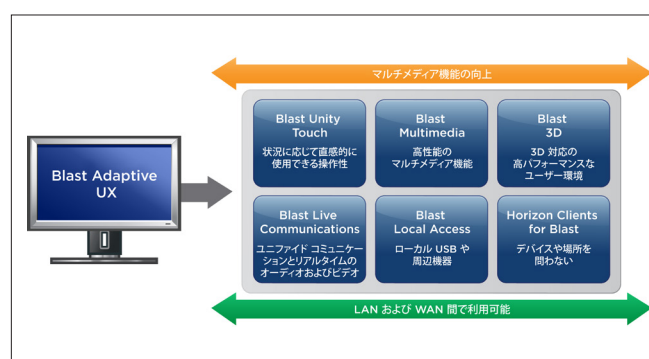


図 3：Horizon Blast Performance が実現する、デバイスや場所を問わない適応性に優れた使用環境

包括的な Workspace Environment Management ソリューション

Horizon 6 では、ユーザーのコンピューティング リソースの確実な管理、提供の自動化、および保護が可能です。



図 4：Horizon 6 による、包括的な Workspace Environment Management ソリューション

Horizon 6 の新機能

ユーザー環境の管理およびカスタマイズ

VMware User Environment Manager™ は、あらゆる仮想環境、物理環境、およびクラウド ベースの環境全体に、カスタマイズと動的なポリシー設定機能を提供します。

- 既存のインフラストラクチャを利用する、単一の拡張可能なソリューションを提供することで、エンド ユーザーのプロファイル管理を簡素化
- エンド ユーザーに Windows のワークスペースやアプリケーションへの迅速なアクセスと、デバイスや場所を問わず一貫したカスタムの使用環境を提供

リアルタイムでのアプリケーションの配布および管理

- アプリケーションを容易にパッケージングして互換性の問題を回避
- 大規模な環境でアプリケーションを即座にプロビジョニング
- ユーザーが各自のデスクトップにログインしている場合にも、アプリケーションをユーザー、グループ、またはデバイスに動的に関連付け
- アプリケーションをリアルタイムでプロビジョニング、配布、アップデート、および削除

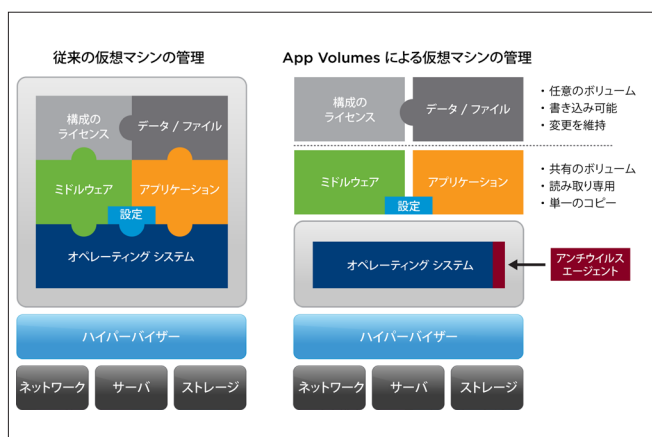


図 5：App Volumes で管理する仮想マシンはオペレーティング システム上で仮想化される。アプリケーション、データ ファイル、設定、ミドルウェア、構成のライセンスは個別のレイヤーとして機能する

イメージ管理

- View を通じたデスクトップおよびアプリケーションのプロビジョニング
- VMware Mirage の統合イメージ管理をサポートするため、複数の仮想データセンターにわたって、物理マシンおよびフル クローンの仮想マシンを効率的に管理
- View Composer でリンク クローンを使用してデスクトップまたは RDSH ファーム全体をアップデート
- RDSH サーバの使用率の最適化をサポートすると同時に優れたユーザー環境を実現
- 規模の大きい分散したインフラストラクチャの構築と、仮想デスクトップ、RDS ホスト型アプリケーション、および地理的に分散したデスクトップへの容易なアクセスを実現

分析および自動化

- デスクトップとアプリケーション向けの VMware vRealize™ Operations™ を使用したクラウド分析機能により、VMware Horizon および Citrix XenApp 環境全体の包括的な視認性を提供。IT 部門はデスクトップ サービスやアプリケーション サービスの健全性とパフォーマンスの最適化が可能

オーケストレーションとセルフ サービス機能

- vCenter Server による、デスクトップのワークロードを統合管理するためのプラットフォームの提供
- VMware vRealize Orchestrator™ のプラグインを通じて VMware vRealize Automation™ を活用し、デスクトップとアプリケーションのプロビジョニングの自動化が可能

Software-Defined Data Center に対する最適化

vSphere で培った知識や経験を活用、応用することで、デスクトップやアプリケーションの提供を簡素化することが可能です。Horizon 6 では、仮想コンピューティング、仮想ストレージ、および仮想ネットワークの仮想化機能とセキュリティ機能を拡張することで、コスト削減、ユーザー環境の向上、およびより優れたビジネス俊敏性を提供します。

Horizon 6 には VMware Virtual SAN™ オール フラッシュのサポートが含まれています。Virtual SAN は、ストレージのプロビジョニングを自動化し、直接接続型ストレージ リソースを活用して、デスクトップ ワークロードにかかるストレージ コストを削減できます。また、EVO:RAIL™ を Virtual SAN および Horizon と組み合わせることで、使いやすく、拡張性に優れ、コストが最適化されたデスクトップおよびアプリケーションの仮想化環境のサポートが可能です。

ネットワークとセキュリティの面では、Horizon と NSX (別売) を組み合わせて使用することで、エンド ユーザーにネットワークのセキュリティ ポリシーを迅速かつ容易に設定できます。ポリシーはデバイスや場所を問わず適用され、基盤となる物理インフラストラクチャへの変更の影響を受けません。

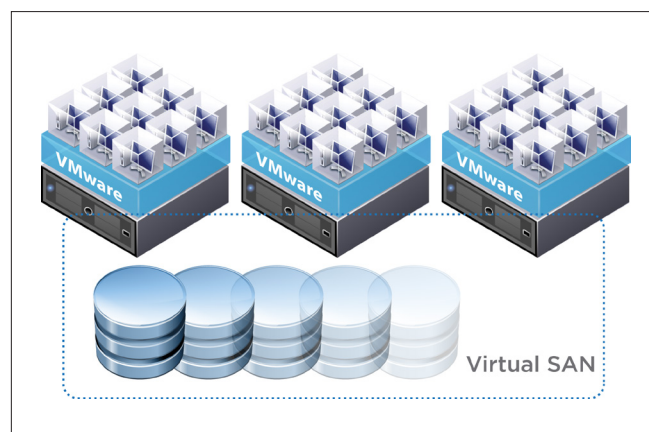


図 6：Virtual SAN オール フラッシュを使用した場合の TCO の削減と拡張

Horizon 6 の構成

Horizon は、オンプレミス向け製品としての Horizon 6、または VMware Horizon Air を通じたクラウド ホスト型サービスとして提供されます。

Horizon 6 には、次の 3 種類のエディションがあります。

- Horizon View Standard：シンプルで強力かつ操作性に優れた仮想デスクトップ インフラストラクチャ環境をユーザーに提供
- Horizon Advanced：統合ワークスペースを通じて、デスクトップとアプリケーションを費用対効果に優れた方法で提供
- Horizon Enterprise：クラウドの自動化と管理を伴うデスクトップおよびアプリケーションの提供

詳細情報

詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/horizon-view/>

VMware 製品のご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

www.vmware.com/jp/products

仕様および要件の詳細については、製品のドキュメントを参照してください。

機能	Horizon View Standard	Horizon Advanced	Horizon Enterprise
デスクトップとアプリケーション			
Windows 仮想デスクトップとセッションベースのデスクトップ	○	○	○
Linux デスクトップ			○
統合ワークスペース：XenApp、RDSH、SaaS、ThinApp		○	○
アプリケーションの配布 (RDSH)		○	○
仮想アプリケーション (ThinApp)	○	○	○
Blast Performance (3D グラフィック、ユニファイド コミュニケーション、マルチメディア リダイレクトなど)	○	○	○
ワークスペース環境管理			
イメージ管理			
物理デスクトップのイメージ管理 (VMware Mirage + VMware ThinApp)		○	○
アプリケーション管理			
リアルタイムでのアプリケーションの配布 (App Volumes)			○
ユーザー環境管理			
ユーザー プロファイルおよびポリシーの管理			○
クラウドの自動化			
クラウドの自動化とセルフ サービス (Orchestrator + デスクトップ プラグイン)			○
クラウド分析と運用管理			
運用ダッシュボード：健全性の監視とパフォーマンス分析 (vRealize Operations for Horizon)			○
キャパシティ管理：プランニングと最適化 (vRealize Operations for Horizon)			○
インフラストラクチャ			
ストレージ			
仮想ストレージ (Virtual SAN オールフラッシュ)		○	○
デスクトップ インフラストラクチャ			
クラウド インフラストラクチャ (VMware vSphere® Desktop および vCenter Desktop)	○	○	○

